

自動給餌機を使用しない ウチダザリガニ用連続捕獲装置の開発

高橋清孝・長谷川政智・根元信一(シナイモツゴ郷会)
室田欣弘(UWクリーンレーク洞爺湖)

大崎市里山のため池では自動給餌機を備えた連続捕獲装置によりアメリカザリガニを捕獲し低密度を維持しています。これを広く普及するためには、簡単化とコストダウンが求められています。また、北海道等では水深10~20mに生息するウチダザリガニを効率的に捕獲する漁具の開発が急務となっています。これらの課題をかいけつするため、自動給餌器を使わない連続捕獲装置を試作し、実証実験を行いました。詳細は講演要旨(11高橋他)をご覧ください。

入口:
ザリガニ
が侵入

明室:小型の
アナゴカゴを
連結。

暗室:プラスチ
ックネットをか
ぶせ暗くしてい
ます。

ザリガニ取り
出口:ヒモ
で結束。

餌:ドッグフードをいれたタッパーウェア
3個、穴の大きさと数を変えて1週間程度
餌が残るようにしました。

アメリカザリガニやウチダザリガニは大食漢であり、夜行性であるため日中は暗い方を好みます。この習性を利用して、明室の餌を1週間残存させて継続的に蟻集させ、明室へ侵入したザリガニ類を隣の暗室へ誘導して収容します。

